

広島市工業技術センター指定管理者の業務実施状況（平成 28 年度）の概要・評価

1 施設名及び指定管理者等

(1) 施設名及び所在地	広島市工業技術センター（広島市中区千田町三丁目 8 番 2 4 号）
(2) 指定管理者等 (非公募により選定)	(1) 名称及び所在地 公益財団法人広島市産業振興センター (広島市西区草津新町一丁目 2 1 番 3 5 号) (2) 指定期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 (3) 指定管理料の限度額（4 年間分） 8 億 3, 034 万 1 千円

2 実地調査の実施状況

区 分	内 容
実施年月日	平成 29 年 3 月 9 日（木）
実施内容	業務実施状況の確認、職員へのヒアリングを行った。

3 業務の実施状況

平成 28 年度の状況		市の 評価	
(1) 管理業務の実施状況			
<p>ア 市民の平等利用の確保策の実施状況</p> <p>(ア) 広島市工業技術センター条例等関係法令を遵守し、理由もなく中小企業の施設利用を拒んだり、不当な取扱いが生じないよう、職員に周知徹底を図り、中小企業の平等な利用が確保できるように対応している。</p> <p>(イ) 施設の利用案内等の情報をホームページ等により提供している。</p>	○		
<p>イ 事業の実施状況</p> <p>次の事業を実施している。</p> <p>(ア) 工業技術に関する指導、相談及び調査研究</p> <p>(イ) 工業技術に関する情報の収集及び提供</p> <p>(ウ) 工業技術に関する研修会及び講習会の開催</p> <p>(エ) 工業製品及び原材料に関する試験及び検査</p> <p>(オ) 工業製品の試作、設計及び意匠図案の作成</p> <p>(カ) その他市長が必要と認める事業</p>	○		
<p>ウ 維持管理業務等の実施状況</p> <p>次の業務を実施している。</p> <p>(ア) 広島市工業技術センターの設備の使用の許可に関すること。</p> <p>(イ) 広島市工業技術センターへの入館の制限に関すること。</p> <p>(ウ) 広島市工業技術センターの施設並びに工作設備及び試験設備の維持管理に関すること。</p> <p>(エ) その他市長が定める業務</p>	○		
(2) 指定管理料等の収支状況		○	
ア 平成 28 年度の状況			
区分	計画 (ア)	実績 (イ)	差引 (イ) - (ア)
収入 (a)	1 億 7,969 万円	1 億 8,019 万円	50 万円
指定管理料	1 億 7,006 万 1 千円	1 億 7,006 万 1 千円	0 千円
その他	962 万 9 千円 前年度繰越金(962 万 9 千円)	1,012 万 9 千円 前年度繰越金(1,012 万 9 千円)	50 万円 前年度繰越金 (50 万円)
支出 (b)	1 億 7,969 万円	1 億 7,879 万 5 千円	△89 万 5 千円
差引 (a) - (b)	0 千円 次年度繰越金 (0 千円)	139 万 5 千円 次年度繰越金 (139 万 5 千円)	139 万 5 千円 次年度繰越金 (139 万 5 千円)
イ 特記事項			
<p>指定管理料のみでは賄えない支出については、前年度繰越金により対応しており、運営に支障は生じていない。</p>			

平成28年度の状況	市の評価
(3) その他	
<p>ア 利用者ニーズの把握及びそれを踏まえた管理運営の実施状況（指定管理者によるアンケートの実施等） 企業ニーズをよりの確に把握するため、業界団体へのアンケート調査に加え、工業技術支援アドバイザー派遣、技術者研修、技術研究会の各事業においてアンケート調査を行っている。 また、受付窓口でもアンケート調査を実施し、満足度等や利用者ニーズの把握に努めている。</p>	○
<p>イ 個人情報保護への対応状況 公益財団法人広島市産業振興センター個人情報保護規程を作成し、職員へ周知徹底することにより適切に対応している。</p>	○
<p>ウ 情報公開の実施状況 公益財団法人広島市産業振興センター情報公開規程を作成し、職員へ周知徹底することにより適切に対応している。</p>	○
<p>エ 緊急事態、不法行為等への対応状況（防災、防犯などの安全対策を含む。） 自衛消防隊を組織するほか、工業技術センター危機管理マニュアルを更新し、職員への周知徹底を図ることにより、利用者の安全対策や緊急事態への適切な対応を行っている。 また、津波の避難訓練も行っている。</p>	○
<p>オ 苦情・要望への対応状況 「苦情等対応マニュアル」を作成し、研修などにより職員への周知徹底を図ることにより適切に対応している。</p>	○
<p>カ 配置人員及び職員研修の実施状況等 (ア) 配置人員（4月1日現在） a 技術振興室 6人 b 材料・加工技術室 6人 c システム技術室 3人 d デザイン開発室 4人 (イ) 職員研修の実施状況 a 障害者差別解消法に関する研修（5月18日、19日）、倫理研修（9月13日、15日）、ワーク・ライフ・バランス等に関する研修（10月19日） b その他、所属単位のミーティングでメンタルヘルスや接遇に関する注意事項などを伝え、良好な職場環境の維持に努めている。 (ウ) 労働基準法等の遵守状況 雇用契約、賃金計算、労働時間管理について適正に実施しており、また、最低賃金額を遵守している。</p>	○
<p>キ 自己評価の実施状況 自己評価の実施方法及び評価基準を定め、四半期ごとに業務の実施状況を自己評価している。</p>	○
<p>業務の実施状況の評価</p>	A

4 施設の利用状況

平成28年度の状況				市の評価	特記事項
ア 利用企業数等				A	
目標数値 (ア)	実績値 (イ)	差引 (イ) - (ア)	達成率 (イ) / (ア)		
480社	528社	48社	110.0%		
※ 前年度実績 534社 (増減率△1.1%)					
イ 利用促進策の実施状況					
(ア) 広報の充実 ホームページの更新やメールマガジンの発行により、タイムリーな情報発信を行うとともに、展示会等へパネルを出展し、事業のPRに努めている。					
(イ) 指定管理者の提案による取組の実施 技術相談・指導、依頼試験等の内容を蓄積したデータベースシステムを活用し、業種別、地域別等の利用状況の把握・分析を行っている。また、この利用状況を基に、業界団体のヒアリング調査を行い、新たな利用者の掘り起こしに努めている。					

5 利用者の満足度

アンケート調査の実施結果等	市の評価	特記事項
市と指定管理者が共同で実施した利用者へのアンケート調査結果（標本数484件）では、サービス内容などの満足度については、満足が83.4%、不満が1.5%であった。	A	

6 評価

区分	市の評価	特記事項
評価（5段階評価）	5	利用者や業界団体へのアンケート調査結果を反映した研修会、講習会を開催するなど、企業ニーズに沿った事業を展開している。その結果、8割を超える利用者の満足度を維持している。 今後も引き続き適切な管理運営を行うよう指示した。
業務の実施状況	A	
施設の利用状況	A	
利用者の満足度	A	